

南城市地域公共交通再編実施計画の改定概要

令和5年9月

南 城 市

1 見直し内容

1.1 見直し概要

- 幹線バスについては、2022年度に2回の見直しを行いました。引き続き、運転手確保が厳しい状況が続いており、2023年9月11日にも、幹線バスの減便を行うこととなりました。
- 減便路線は、系統37番、系統38番、系統338番の3系統でいずれも東陽バスの路線になります。

表 1.2023年9月の主な見直し内容

区分	系統	見直し内容
支線バス (Nバス)	—	見直しなし
幹線バス (路線バス)	国道331号(佐敷・知念方面)	平日、休日の減便 平日：43便→31便(▲12便) 休日：30便→28便(▲2便)
		平日、休日の減便 平日：6便→3便(▲3便) 休日：3便→2便(▲1便)
		平日、休日の減便 平日：7便→6便(▲1便) 休日：5便→4便(▲1便)
	県道48号線・86号線 (大里・玉城方面)	見直しなし
国道331号・県道17号線 (玉城方面)	見直しなし	
県道77号線(大里方面)	見直しなし	



図 1.2023年9月見直し路線のルート

1.2 幹線バスの見直し

(1) 国道 331 号（佐敷・知念方面）

- 国道 331 号（佐敷・知念方面）では、系統 37 番、系統 38 番、系統 338 番の平日、休日で減便します。
- 系統 37 番は平日 12 便、休日 2 便、系統 38 番は平日 3 便、休日 1 便、系統 338 番は平日 1 便、休日 1 便の減便になります。

表 2.国道 331 号(佐敷・知念方面)の再編概要(1/2)

系統番号	系統名	平日便数*	事業者	2019 年度再編	2020 以降の再編	備考
37 番	那覇新開線	32 便	東陽バス	新里～馬天営業所行、新里～市役所行に分岐し、ほとんどの便が南城市役所発着。	南城市役所発着	沖縄バスの 39 番、339 番、41 番系統と等間隔運行を実施。 2023 年 2 月、2023 年 9 月減便。
38 番	志喜屋線	32 便	東陽バス	朝夕のみ運行し、斎場御嶽発着の 338 番系統を新設。	同左	2022 年 2 月、2023 年 9 月減便。
338 番	斎場御嶽線	—	東陽バス	斎場御嶽発着で、斎場御嶽線を新設。	同左	2023 年 2 月、9 月減便。
39 番	百名線 ※再編後は南城線	46 便	沖縄バス	南城市役所発着に変更。	市内は同左 2022 年度に一部便が豊見城営業所まで運行区間を延長	東陽バスの 37 番系統と等間隔運行を実施。 2020 年度より増便。
339 番	南城～結の街線	—	沖縄バス	南城市役所発着で、結の街線を新設。	市内は同左 2022 年度に壺川経由に運行。	東陽バスの 37 番系統と等間隔運行を実施。 2020 年度より増便。
41 番	つきしろの街線 ※再編後はつきしろの街(百名経由)線	10 便	沖縄バス	南城市役所発着～西つきしろ間～百名～市役所に運行区間を延長。	2022 年度に廃止、39 番に統合	東陽バスの 37 番系統と等間隔運行を実施。

※表の「平日便数」は 2019 再編前

表 3.国道 331 号(佐敷・知念方面)の再編概要(2/2)

系統 番号	系統名	平日 便数※		事業 者	2019 年度再編	2020 以降の 再編	備考
191 番	城間線	32 便		東陽 バス	変更なし。	新里～馬天営業所間から新里～南城市役所に経路を変更。	事業者にて、南城市役所までの乗り入れ可能性を検討。 2022.11 の 391 番の新設に伴い減便。 ※91 番は 2018 (平成 30) 年 12 月 22 日に廃止し、191 番へ統合
391 番	城間線	—		東陽 バス	—	2022.11 新設	

※表の「平日便数」は 2019 再編前



図2.国道331号(佐敷・知念方面)の幹線バスの再編内容

2 収支の見直し

2.1 再編事業の事業費

(1) 支線バス

●支線バスの事業費は、今回見直して変更がないため、前回見直しの2023年度4月と同額です。

表 4.2023年9月見直し時の支線バスの事業費

系統番号	運行主体	運行区間	事業費 (千円)
A-1/A-2 知念・佐敷一周線	沖縄バス	市役所～馬天～佐敷～安座真～志喜屋～百名～親慶原～市役所	33,000 /33,000
A-3 知念・佐敷一周線(つきしろ経由)	沖縄バス	東つきしろ～馬天小前～佐敷小前～知念小前～市役所	0 /0
B-1/B-2 ニライカナイ橋・つきしろ線	沖縄バス	市役所～親慶原～安座真～佐敷～馬天～市役所	26,700 /26,700
C-1/C-2 玉城・大里一周線	沖縄バス	市役所～親慶原～百名～奥武～船越～稲嶺～仲程～大城～市役所	28,300 /28,300
D-1 玉城東回り線	沖縄バス	玉城東地域を回る通勤・通学ルート	1,800 /1,800
D-2 玉城東回り線(向陽高校経由)	沖縄バス	玉城地域及び向陽高校下校時のルート	3,100 /3,100
E 知念南回り線	沖縄バス	市役所～つきしろの街～志喜屋～百名～市役所	0 /0
F-1 玉城西回り線	沖縄バス	市役所～系数～前川～湧稲国～船越～市役所	700 /700
F-2 玉城西回り線(玉城幼稚園経由)	沖縄バス	喜原～系数～前川～船越～玉城幼稚園～市役所	600 /600
F-3 玉城一周線(玉泉洞経由)	沖縄バス	市役所～玉幼～愛地～堀川～百名～親慶原～市役所	1,000 /1,000
G 向陽高校線(大里経由)	沖縄バス	市役所～嶺井～仲程～湧稲国～船越～向陽高校入口	800 /800
H 知念高校線(大里経由)	沖縄バス	市役所～知念高校～仲程～湧稲国～系数～市役所	0 /0
小計			96,000 /96,000

※上段が2023年4月、下段が2023年9月

支線バスの事業費は、路線別の年間の走行キロに燃料費を乗じ、人件費及び車両費は各系統で共有しているため、全体の費用を年間の走行キロで按分して路線毎に割り当てて算出しています。

(2) 幹線バス・デマンド交通

- 幹線バスの事業費は、減便等により 2023 年 4 月の 95,600 千円/年から、2023 年 9 月は 89,500 千円/年と 6,100 千円/年減少します。
- デマンド交通は、2023 年 4 月、2023 年 9 月ともに、44,300 千円/年で変化はありません。
- 全体の事業費は、2023 年 4 月の 235,900 千円/年から、2023 年 9 月は 229,800 千円/年へと 6,100 千円/年減少します。

表 5.2023 年 9 月見直し時の幹線バス・デマンド交通・全体の事業費

区分	系統番号	運行主体	運行区間	車両	運転手	事業費 (千円)
幹線バス	37 番系統	東陽バス	那覇 BT~馬天入口~新里~馬天営業所・南城市役所	} 13	23	10,300 /8,100
	38 番系統	東陽バス	那覇 BT~馬天入口~志喜屋			6,500 /3,500
	338 番系統	東陽バス	那覇 BT~馬天入口~斎場御嶽入口			5,700 /4,800
	39 番系統	沖縄バス	那覇 BT~馬天入口~南城市役所	} 5	9	8,200 /8,200
	339 番系統	沖縄バス	結の街~那覇 BT~南城市役所			3,300 /3,300
	40 番系統	沖縄バス	那覇 BT~大城・南城市役所	} 4	8	15,100 /15,100
	309 番系統	沖縄バス	結の街~那覇 BT~大城・南城市役所			12,000 /12,000
	51 番系統	琉球バス	那覇 BT~稲嶺十字路~玉城中学校前~百名 BT	} 13	20	15,200 /15,200
	50 番系統	琉球バス	那覇 BT~向陽高校~中山~百名 BT・南城市役所			14,300 /14,300
	36 番系統	沖縄バス	糸満 BT~仲程~馬天入口~南城市役所			他系統と運用
		小計			35	60
デマンド交通	おでかけなんじい	鏡原第一交通	久高島を除く南城市内全域	3	6	44,300 /44,300
	計			44	77	235,900 /229,800

※上段が 2023 年 4 月、下段が 2023 年 9 月

幹線バスの事業費は、路線別の年間の走行キロに走行キロあたり運行経費を乗じて算出しています。

2.2 再編事業の収入見込み

- 2023年9月の見直しで、幹線バスの減便に伴い、一部利用者が幹線バスからNバスに転換することで、全体の収入は、206,800千円/年から205,800千円/年へと1,000千円/年減少を見込んでいます。

表 6.再編事業の収入見込み

区分	収入見込み（千円/年）		増減	備考
	2023.4	2023.9		
支線バス	41,900	42,300	+400	幹線バスからの転換あり
幹線バス	159,600	158,200	▲1,400	一部が支線バスに転換
デマンド交通	5,300	5,300	—	
計	206,800	205,800	▲1,000	

2.3 収支の見込み

(1) 支線バス

- 支線バスの収支は、収入が増加することで、赤字額が2023年4月の54,100千円/年から2023年9月の53,700千円/年への改善が見込まれます。

表 7.支線バスの収支見込み

系統名	収入(千円)			支出(千円)			収支(千円)		
	2023.4	2023.9	増減	2023.4	2023.9	増減	2023.4	2023.9	増減
A1: 佐敷・知念・百名線									
A2: 百名・知念・佐敷線	18,900	19,300	400	32,900	32,900	0	▲14,000	▲13,600	400
B1: 佐敷・ニライカナイ橋・つきしろ線									
B2: つきしろ・ニライカナイ橋・佐敷線	7,200	7,200	0	26,300	26,300	0	▲19,100	▲19,100	0
B3: つきしろ線	200	200	0	600	600	0	▲400	▲400	0
C1: 玉城・大里線									
C2: 大里・玉城線	12,100	12,100	0	28,200	28,200	0	▲16,100	▲16,100	0
D1: 玉城東回り線	900	900	0	1,800	1,800	0	▲900	▲900	0
D2: 玉城東回り線(向陽高校経由)	1,700	1,700	0	3,100	3,100	0	▲1,400	▲1,400	0
F1: 玉城西回り線	200	200	0	700	700	0	▲500	▲500	0
F2: 玉城西回り線(玉城こども園経由)	200	200	0	600	600	0	▲400	▲400	0
F3: 玉城一周線(玉泉洞経由)	400	400	0	1,000	1,000	0	▲600	▲600	0
G: 向陽高校線(大里経由)	100	100	0	800	800	0	▲700	▲700	0
計	41,900	42,300	400	96,000	96,000	0	▲54,100	▲53,700	400

(2) 幹線バス

●幹線バスの収支は、収入は減少しますが、支出の削減により黒字額は、2023年4月の64,000千円/年から、2023年9月は68,700千円/年に改善される見込みです。

表 8.幹線バスの収支見込み

系統名	収入(千円)			支出(千円)			収支(千円)		
	2023.4	2023.9	増減	2023.4	2023.9	増減	2023.4	2023.9	増減
37番系統	15,500	13,800	▲ 1,700	10,300	8,100	▲ 2,200	5,200	5,700	500
38番系統	23,900	22,500	▲ 1,400	6,500	3,500	▲ 3,000	17,400	19,000	1,600
338番系統	26,800	26,800	0	5,700	4,800	▲ 900	21,100	22,000	900
39番系統	28,300	30,000	1,700	8,200	8,200	0	20,100	21,800	1,700
339番系統	5,000	5,000	0	3,300	3,300	0	1,700	1,700	0
40番系統	13,500	13,500	0	15,100	15,100	0	▲ 1,600	▲ 1,600	0
309番系統	9,000	9,000	0	12,000	12,000	0	▲ 3,000	▲ 3,000	0
51番系統	13,000	13,000	0	15,200	15,200	0	▲ 2,200	▲ 2,200	0
50番系統	23,900	23,900	0	14,300	14,300	0	9,600	9,600	0
36番系統	700	700	0	5,000	5,000	0	▲ 4,300	▲ 4,300	0
琉球バス交通	36,900	36,900	0	29,500	29,500	0	7,400	7,400	0
沖縄バス	56,500	58,200	1,700	43,600	43,600	0	12,900	14,600	1,700
東陽バス	66,200	63,100	▲ 3,100	22,500	16,400	▲ 6,100	43,700	46,700	3,000
計	159,600	158,200	▲ 1,400	95,600	89,500	▲ 6,100	64,000	68,700	4,700

(3) デマンド交通

●デマンド交通の収支は、運行計画に変更がないことから、2023年4月と同じ39,000千円/年の赤字となります。

表 9.デマンド交通の収支見込み

区分	収入(千円)	支出(千円)	収支(千円)
2023.4再編	5,300	44,300	▲ 39,000
2023.9再編	5,300	44,300	▲ 39,000

(4) 収支のまとめ

●2023年4月の収支は、全体で29,100千円/年の赤字に対し、2023年9月の収支は、24,000千円/年の赤字となっており、収支は、5,100千円/年改善される見込みです。

表 10.2023年9月再編の収支見込みのまとめ

	収入			支出			収支		
	2023.4	2023.9	増減	2023.4	2023.9	増減	2023.4	2023.9	増減
支線バス	41,900	42,300	400	96,000	96,000	0	▲ 54,100	▲ 53,700	400
幹線バス	159,600	158,200	▲ 1,400	95,600	89,500	▲ 6,100	64,000	68,700	4,700
デマンド交通	5,300	5,300	0	44,300	44,300	0	▲ 39,000	▲ 39,000	0
計	206,800	205,800	▲ 1,000	235,900	229,800	▲ 6,100	▲ 29,100	▲ 24,000	5,100

2.4 2023年9月再編の評価のまとめ

●2023年9月の再編により、幹線バスが減便されることで、総走行台キロは、2023年4月の106万7千km/年から、103万3千km/年へと3万4千km減少します。

表 11.2023年9月再編での総走行台キロの変化

	台キロ		
	2023年4月	2023年9月	増減
支線バス	661,000	661,000	0
幹線バス	406,000	372,000	▲ 34,000
計	1,067,000	1,033,000	▲ 34,000